

いづら祭

「第32回いづら祭」が催されました。松原の夏の一大イベントである「いづら祭」ですが、終始人の途切れる事もなく、多くの方のご参加をいただき、子どもから大人まで楽しんでもらえる活気のあるお祭りになりました。

今年、慣例行事である「青山様・ほんぼん」が中止となる中、開催される「いづら祭」が、唯一8月の一大イベントになりました。松原地区にお住まいになる方々の出逢いの場所となり、「松原の活力ある町づくり」に貢献出来たお祭りになったと思います。



ふれあいのまち

松原かわら版

世帯数 1,297 戸
人口 2,975 人
高齢化率(65歳以上) 29.8%
(令和7年8月1日現在)



みなさん注目のキッズダンス、フラダンスで今年も会場が大いに盛り上がりました!



今年も中学生が夏祭りを盛り上げてくれました!

中学生ボランティア
お祭り当日の午前には、役員の方たちとともに中学生ボランティアの皆さんが祭りのテント設置や提灯を掲げたりと準備にあたりました。

中学生に午前中の設置のボランティアをすることにしたのはなぜか聞いたところ、「友だちと一緒に準備するのも楽しいからです。」との話が聞きました。

また、そのような姿をみた小学生からは、「中学生が楽しそうに焼きそばを作っていた姿を見ました。来年は中学生になるのでわたしも作りたいと思います。」という声もあり、今後も中学生が活躍する夏祭りになりそうです。



いづら祭の舞台裏
いづら祭では、各町会はじめ専門部会などが趣向を凝らして売店を運営しています。また、翌日の朝には役員のみなさんが後片付けを行い、中央公園は元の姿に戻りました。

(編集委員会)



準備から活躍する中学生



町会のできごと

第4町会

8月1日(金)松原地区公民館にて4町会主催の松本市出前講座が開催されました。当日は参加者9名(大人5名、子供4名)と松本市美術館から講師を迎えて行われました。平尾町会長から講師紹介の後、美術館所有の作品写真から自分の好みのものを選び、解説し合いました。また、作品写真から1枚、頭の中で選び特徴の質問で絞り込んでいくゲームを行いました。美術品をとおして大人と子供が会話する貴重な時間が得られました。



第6町会

8月2日(土)松原町内公民館で、町内の方を講師に気軽に参加できる体験型の教室を開催しました。



親子で参加した方も多く、透明な枠に色を塗ったり、ビーズ、ストーン、ドライフラワーなどを自由に並べ、UV・LEDライトで固めてキーホルダーを作りました。楽しかったという声も聞かれ、大人も子供も皆集中して取り組み、出来上がった作品をお互いに見せあって交流しました。

まつばらのできごと 7/7 防災講座～講話と地震体験車

能登半島地震の災害派遣を経験した市職員から、実際に見た被災現場や避難所の状況についてお話を伺い、日ごろの備えが重要であることを再認識しました。地震体験車では、国内外で過去にあった地震を再現した揺れを体験することで、身をもって地震の怖さを知る貴重な機会となりました。



8/1 収穫祭～夏～ 公民館の小さな畑で今年もじゃがいも、ミニトマト、ナスなどを栽培しました。じゃがいもの生育があまりよくなく子どもたちがガッカリする場もありましたが、参加者全員で野菜を収穫しました。



みんなで調理したカレーを美味しくいただきました。

8/6 夏休み子どもバス研修 19名の小・中学生は市のバスで野辺山方面へ向かいました。野辺山には今話題の野辺山宇宙電波観測所があります。アニメ映画に出てきたあの場所です。今回はそれにあやかり「野辺山」を体験してもらうことを目的とした講座です。

野辺山宇宙電波観測所は映画の影響が見学者が大勢いました。人気アニメの影響はすごいと実感しましたが、私たちを出迎えてくれた45m電波望遠鏡の大きさにも圧倒されました。昼食は近くの滝沢牧場でカレーライスを堪能。高原の清涼な風が暑さを軽減してくれます。最後はポッポ牛乳でお馴染みの「ヤツレン」の工場見学です。工場まで30分以内に届くハケ岳・野辺山高原管内の酪農家から集めた新鮮な生乳で作られる牛乳を見学し、その牛乳で作った牛乳フロート(牛乳にアイスクリームが乗っている)を頂きました。わいわいがやがやとした研修でしたが、子ども達の笑顔と、怪我無く無事終わったことが何よりの救いです。



私はこの度、運転免許更新の為に認知機能検査及び高齢者講習を受講いたしました。この時の体験を簡単ですがここに記させていただきます。

まず、認知機能検査ですが、4種類×4つの16枚のイラストが出されます。これを4分程度で記憶します。尚このイラストにはそれぞれヒントが書かれています(例:口・目は体の一部、バラ・ユリ等は花)。その後、1～9のたぐさんの数字が出されます。10×10の百個でした。教官に言われた数字を斜線で消します。これは先に記憶したイラストの絵を忘れさせる為の様です。そして先程のイラストの絵を記憶をたよりに書き込みます。私は9種類書き込みました。次にヒントに依る答え書き込みます。これは一応全て書くことが出来ました。

検査の結果は、「認知症の恐れなし」となりました。因みに36点以上が恐れ無し、36点未満は恐れ有りとなり、臨時検査を受ける様になります。

次に私は運転実習を行いました。この実習には、5～6センチの段差に乗り上げ直ちにブレーキを踏むという動作が有りましたが、私は残念な事に少し遅れてしまいました。これは事故に成りかねない行為で大いに反省しました。(編集委員)

